

アウトサイダー・アート／アール・ブリュットに なぜ惹きつけられるのか

—アウトサイダー・アート／アール・ブリュットに投射される未来—

平成30年 3月28日(水)14時～16時 (開場13:30)

会場：国立新美術館3階講堂 定員：260名

入場無料
申込不要

アウトサイダー・アート／アール・ブリュットの世界に向き合うところから、わたしたちの感性を磨く、それによってわたしたちの世界が広がる、という喜びについて語り合う集いです。

【登壇者】



荒 豊

兵庫県立美術館・館長(「ヴェルフリ展」主宰者)



山中 康裕

京都大学名誉教授(精神科医、表現療法)



服部 正

甲南大学文学部准教授(美術史、アウトサイダー・アート／障がい者の創作活動の研究)

【司会】



宮坂 敬造

慶應義塾大学名誉教授(文化人類学・「文化精神医学とアート」研究)